

2 男性たちが考える

脱 男だから 女だから

本市在住・在勤の男性などを対象に「スツキリ!?」脱 男だから、女だから』を語る会」を10月29日に開催し、13人が参加しました。京都産業大学教授の伊藤公雄さんを講師として招き、ジェンダーギャップの解消の必要性について、男性学の視点から分かりやすく話していただきました。

性差に関する偏見・差別の
気付きが重要であると実感

参加者 西垣義嗣さん

ジェンダーギャップの解消には、日常生活で自覚されていない偏見や差別に気付くことが重要であると感じました。ギャップを意識し、おかしいなと思ったら改善に向けて声を上げることで、お互いが暮らしやすく活力ある地域になることを期待します。



国際基準のジェンダー平等を
京都産業大学教授

伊藤公雄さん

「男性主導＝男性が社会的マジョリティ(多数派)」であることを前提としてきた社会や制度を改革し、生物学的性差への配慮と、それを口実にした差別や排除の構造を廃棄し、国際基準のジェンダー平等社会を共に目指そう。



区長や区役員がジェンダーギャップの視点でこれからの地域づくりについて意見交換した



男性を対象にした研修会では、男性であるがための生きづらさなども吐露された

3 地域で考える

区長連合会 研修会

男女で区の事業の見直し

福田区長 杉山隆一さん

男女で構成する「事業見直し委員会」を設置しました。秋祭りや運動会は、防災の観点からも顔見知りの機会として継続し、区民アンケート調査結果を踏まえて、時間短縮や今まで女性に負担が大きかった接待のあり方などの見直しを検討しています。区民や役員の協力がありません。一歩踏み出すことができました。



みんなが幸せを感じるまちを

国立女性教育会館理事長

萩原なつ子さん

鍵言葉はコミュニティ・ウェルビーイング(※)。一人一人が個性を大事に、それぞれの能力を十分に発揮できるまち、みんなが幸せを実感できる豊岡をつくりましょう。

※コミュニティ・ウェルビーイング
地域社会での幸福。住んでいる場所、家族、親戚、友達、学校、職場、活動団体とのより良い関係。



11月5日・6日に出石永楽館などで、豊岡市区長連合会研修会「地域づくりに多様な視点をージェンダーギャップについて考えるー」を開催し、区長(町内会長)や区の役員182人が参加しました。国立女性教育会館理事長の萩原なつ子さんによる講演やグループによる意見交換、福田区による実践発表を行いました。

4 生徒たちが考える

中学校生徒会リーダー研修会

私たちにできることを考えた
港中学校生徒会長
山田実々さん



私たちの学校でも生徒会が働きかけて、各学年の道徳で「ジェンダーバイアス（男女の役割に関する固定的観念）」について取り上げてもらいました。リーダー研修会でも同じ質問について意見を出し合い、今後の日常生活で自分たちにできることをみんなで考えることができました。

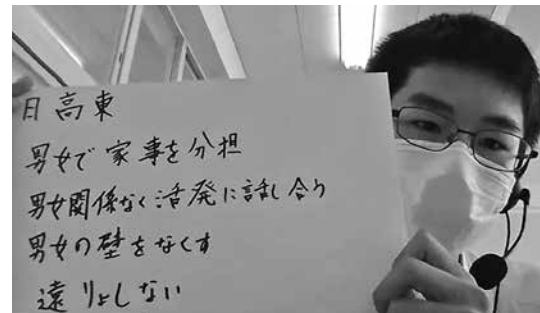
8月22日「未来を描く！一人一人のライフデザイン」をテーマに9つの市立中学校生徒会リーダーによる「中学校生徒会リーダー研修会」をオンライン形式で開催し、生徒34人と校長・生徒会担当教員18人が参加しました。生徒たちは3、4人に分かれてワークショップを行い、ジェンダーへの正しい理解を深めました。

生徒が考えた明日からの取組み

- ▽性別にとらわれず、一人一人の能力に合わせた役割や仕事をする。
 - ▽男だから、女だからこうあるべきという考え方を持たない。学校内の男女格差をなくす。
 - ▽研修会の内容を生徒会から情報発信する。
 - ▽ジェンダーについて話し合い、区別して良いこと、いけないことを考える。
 - ▽男女で家事分担をする。
- 講師講評（萩原なつ子さん）**
男だから、女だからではなく、それぞれがどう生きたいかを考えていってほしい。



女性のキャリア向上のためプレゼンテーション力などを身に付けるセミナーを開催



オンラインで行われた中学校生徒会リーダー研修会では生徒たちにさまざま気付きがあった

5 職場で考える

ワークインベーション推進の取組み

家庭での性差ない役割分担を
(株)アルファスタジオ

代表取締役 松岡みどりさん

家庭の事情で、正社員からパート、あるいはパートから正社員、または退社後再入社など、我が社ではさまざまな働き方で女性がキャリアアップしてきました。家庭での役割が性差なく分担できるようにになれば、女性が職場で、より活躍できる機会が増え、企業のワークインベーションも進化していくと感じています。



市では、女性も男性も働きやすく働きたいのある職場を増やすための取組み（ワークインベーション）を進めています。事業所の経営者、管理職、若手従業員などの対象ごとに無意識の思い込み、女性の人材育成、育児休業・長時間労働の見直しなどの柔軟な働き方、キャリア形成などを学ぶセミナーなどを実施しています。事業所では、性別に基づく人員配置の見直し、男性社員の育児休業取得などの取組みが広がっています。

豊岡市ワークインベーション推進会議の会員企業を募集

女性が働きたい（働きがいがあり働きたい）仕事・職場への変革に積極的に取り組む市内事業所有志で、ワークインベーション推進会議を2018年に設立しました。現在85の事業所が参画し、経営者や管理職が課題や解決策、先進事例等を共有しながら、職場環境の改善に取り組んでいます。随時、会員企業を募集しています。問い合わせは、市ジェンダーギャップ対策室まで。